

平成 23 年度 事業報告書

平成 23 年度実施事業の概要は次のとおりです。

1 博物館事業

来館者のニーズにこたえ、魅力ある博物館をめざし、常設展示をはじめ特別展、ミニ企画展示等の充実、学校教育活動特に総合的な学習への協力等を行い、絹知識の普及と需要の促進に寄与するよう努めました。

また、新たな観点に立った施設のリニューアル工事を行いました。

(1) 普及事業

ア 一般展示事業

絹知識の普及と需要の促進を図ることを目的に、興味ある常設展示に努め、学校教育活動の場や生涯学習の場及び絹による服飾工芸の鑑賞の場として活用できる博物館をめざして、ミニ企画展示、実演、講習会等の更なる充実に努めました。

- ・ 「養蚕実演及び蚕種配布事業」
[飼育実演期間] 平成 23 年 4 月 1 日(金)～平成 23 年 12 月 25 日(日)
- ・ 「理科教育用蚕種配布事業」
[配布日] 平成 23 年 5 月 13 日(金)・14 日(土)
[配布先] 小学校 379 校、幼稚園 151 園、その他 64 件 合計 594 件
[配布数] 約 26 万粒 (13 箱分)
- ・ 「かいこの観察記録展示会」
[会 期] 平成 23 年 12 月 1 日(木)～平成 23 年 12 月 25 日(日)
- ・ 「総合的な学習」への対応
養蚕・製糸・絹の歴史などをテーマに取り組んでいる多くの学校からの問合せや相談、現地指導などに対応し、支援に努めました。
- ・ ミニ企画展
「田島比呂子作品」
[会 期] 平成 23 年 4 月 23 日(土)～5 月 18 日(水)
9 月 3 日(土)～9 月 28 日(水)
「つまみかんざし」
[会 期] 平成 23 年 7 月 23 日(土)～8 月 28 日(日)
- ・ 実演・講習会
「くみひも実演と講習会」
[実演日] 平成 23 年 5 月 14 日(土)～平成 23 年 10 月 22 日(土) 計 13 回
(丸台くみひも実演)
平成 23 年 7 月 17 日(日)・18 日(月) (クテ打くみひも実演)
[講習会] 平成 23 年 7 月 9 日(土)・16 日(土)、9 月 10 日(土)・11 日(日)
11 月 19 日(土)・26 日(土)

「手作り真綿の体験と講習会」

【体験実施日】

平成 23 年 7 月 24 日(日)～8 月 28 日(日) 計 11 回

【講習会】 平成 23 年 9 月 16 日(金)～9 月 19 日(月) 計 4 回

「真綿からの太糸作り・指編み及び手紬糸作り実演と講習」

【実施日】 平成 23 年 6 月 10 日(金)～12 月 17 日(土) 計 14 回

イ 特別展事業

- ・ 三浦景生展—ヨコハマ染陶歷程—
【会 期】 平成 23 年 5 月 28 日(土)～6 月 26 日(日)
- ・ 平山郁夫シルクロード美術館コレクション
「豊饒なる色彩—ウズベキスタンの布と器」
【会 期】 平成 23 年 10 月 8 日(土)～11 月 6 日(日)
- ・ 「親と子のかいこの自然科学教室」
【会 期】 平成 23 年 7 月 23 日(土)～8 月 28 日(日)
- ・ 「シルキークリスマス」
【会 期】 平成 23 年 12 月 1 日(木)～12 月 25 日(日)

(2) 広報事業

小・中学生をはじめ、服飾関係学校、ホテル、旅行会社、雑誌、新聞、テレビ、ラジオ等報道機関などへPRを行うと共にみなとみらい線の車内広告、日本大通り駅の常設電光掲示板広告、インターネット等を積極的に利用して来館者の増加を図り、絹知識の普及と需要促進に寄与するよう努めました。

(3) かながわシルク製品等物産展の開催

本県の伝統産業であるシルク製品等の普及・啓発及び販路拡大等を図るため、シルク製品に関わりのある団体及び神奈川県と共同して「かながわシルクフェア 2012」を開催し、横浜港の繁栄を支えてきた生糸、シルクの魅力の周知に努めました。

【期 間】 平成 24 年 3 月 2 日(金)～3 月 9 日(金)

(4) 資料収集事業

展示の充実を図るため、資料の収集に努めました。

○購入図書 「美しいキモノ」など5冊

○DVD 「くらしを衣裳で残す」など5点

(5) 博物館実習生の受入れ

学芸員の資格をとるための実習生を受入れ、「親と子のかいこの自然科学教室」での子供たちへのかいこの飼育観察、体験学習の指導などを中心に実習を行いました。

【受入れ大学と人数】 12 大学 17 人

(6) ミュージアムショップ事業

横浜のシルク産業を支援する取組みとして、横浜繊維振興会（YTA）に引き続き販売業務を委託しました。

(7) 資料寄贈受入について

友禪の重要無形文化財保持者、田島比呂子氏より平成 22 年度に寄託されていた作品より訪問着等 50 領と資料一式が寄贈されました。

また、森タミエ氏 (17 点)、三浦景生氏 (1 点)、三浦以左子氏 (1 点)、その他図書などの寄贈がありました。

2 関係諸機関への部室提供事業

平成 23 年度末の入居者は 98、入居面積率は 93.24%でした。

3 建物及び諸設備等の維持管理事業

建物及び諸設備の適切な維持管理のため、経年劣化した箇所の修繕等を計画的に行い、入居者の安全確保や執務環境等の維持向上に努めました。

4 附帯事業

入館者及び来館者の利便に供するため、立体駐車施設 (44 台) 及び正面玄関前駐車場 (15 台) の適切な管理運営に努めました。